

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-6_男女共同参画社会の形成

基本計画		事業番号	細事業名称
5-06-01	男女共同参画社会の推進	02199_01	にいほま女性ネットワーク運営事業
5-06-01	男女共同参画社会の推進	02199_02	女性連合協議会活動補助事業
5-06-01	男女共同参画社会の推進	02278_01	男女共同参画推進事業
5-06-02	DV対策の推進	03467_01	DV対策推進事業
5-06-02	DV対策の推進	03467_02	新居浜ほっとねっと補助金

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	02199_01		
事業名(行目名称)		女性グループ育成費	細事業名	にいはま女性ネットワーク運営事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	男女共同参画社会の形成				
	基本計画	男女共同参画社会の推進	担当課	男女参画・市民相談課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	にいはま女性ネットワーク委員および市民		数値	120351			
	手段(どうやって)	2年サイクルで活動活動内容: 定例会の開催(毎月1回)、男女共同参画社会づくりに関する調査研究、啓発冊子の作成、フォーラムでの研究成果発表、県主催の研修会・講座・フォーラム等への参加、活動報告書の作成						
	目的(どんな状態にしたいのか)	男女が共に生き生きと暮らせる社会づくりを推進する若手・中堅リーダーの育成を図る。男女共同参画に対する意識の向上を図り、女性の地位向上と社会参画に向けての意識改革を図る。男女共同参画計画の推進および審議会など委員の女性参画率の向上。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		8	61	61	20	・講師謝金 32千円 ・講師、メンバー旅費(費用弁償) 20千円 ・需用費(消耗品費) 5千円 ・通信運搬費(郵送料) 4千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	8	61	61	20			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
定例会・研修会等への参加者数			目標値	120	120	0	70	100
			実績	159	65	25	63	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
コロナウイルスの影響により、昨年度の活動が十分に行えなかったことから、任期を1年間延長して活動を継続。月1回の定例会を開催し、男女共同参画の推進や、メンバーの意識の向上が図られた。審議会等の委員になっているメンバーもあり、女性参画率の向上にも貢献している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
女性リーダーとなる人材を育成するため、男女共同参画社会づくりについての調査・研究を委員独自で行ったり、様々な研修に参加し男女共同参画を学習している。令和4年6月からは新メンバーとなり、今後2年間かけて活動を行う。2年間の任期のうち1年目は研修、2年目は発表の年となっている。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
感染対策を講じながら、毎月1回の定例会を実施。にいはま女性ネットワークの活動を広く知ってもらうために実施している「公開定例会」も令和3年度はZoomを利用してオンラインで開催。活動の締めくりとなる市長への活動報告用の冊子についても作成し、関係各所へ配布。今後も男女共同参画社会の推進を図るための若手・中堅女性リーダーの育成を図っていく。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02199_02			
事業名(行目名称)		女性グループ育成費	細事業名	女性連合協議会活動補助事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	男女共同参画社会の形成				
	基本計画	男女共同参画社会の推進	担当課	男女参画・市民相談課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	120351				
	手段(どうやって)	講演会等の開催を通して男女共同参画社会形成への意識の高揚と実践力をつけるため、活動を補助する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	男女共同参画社会の形成に向け、女性の自立と社会参画を促進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		147	380	380	27	補助金 380		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	147	380	380	27			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
講演会・研修会等の開催及び参加			目標値	5	5	0	2	5
			実績	7	1	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルスの感染拡大及び公共施設の閉館に伴い、上半期に予定していた事業は中止したが、下半期は感染防止策を講じながら、男女共同参画社会実現に向けて講演会等を実施していく。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
補助金以外の収入は会費等に限られていることから、事業実施の予算確保について検討していく。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全ての事業が中止となったが、計画していた事業案は次年度に実施する予定である。今後は感染状況に留意しながら、十分な感染対策を取るなどして男女共同参画社会の実現に向けて事業を行っていく必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	02278_01		
事業名(行目名称)		男女共同参画推進費		細事業名			男女共同参画推進事業	
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策			男女共同参画社会の形成	
	基本計画	男女共同参画社会の推進		担当課			男女参画・市民相談課	
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	市民			数値	120351		
	手段(どうやって)	・にはまりリーダーズスクールの開催・市政だより特集号等で市民へ啓発ほか						
	目的(どんな状態にしたいのか)	国・県と歩調を合わせ、男女共同参画社会についての趣旨を理解してもらう。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		384	650	650	252	リーダーズスクール講師謝金 80千円 リーダーズスクール託児謝礼 36千円 旅費(費用弁償) 30千円 消耗品費 25千円 印刷製本費 464千円 通信運搬費 15千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	384	650	650	252			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
委員会、審議会等への女性の参画率(%)			目標値	48	50	0	40	40
			実績	29.6	29	31.2	31.3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
男女共同参画週間(8/1~7)に合わせてロビー展などの意識啓発活動を実施。全3回の構成で行うリーダーズスクールの開催に向けて日程や講師の調整を行う。また第3次新居浜市男女共同参画計画の中で設定している6つの主要課題について、男女共同参画社会の実現に向けて取組を進める。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
第3次新居浜市男女共同参画計画に基づき、啓発活動やリーダーズスクールの開催など、男女共同参画社会の実現に向けた従来の事業について、現状のまま維持する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リーダーズスクール(全3回)は中止とした。来年は、開催時期・方法を変えるなどして、実施できるよう取り組んでいきたい。 また、男女共同参画社会づくりの推進について、国や県などからエンパワーメント講座の案内があった際には、チラシ等を設置し周知を行った。今後もより多くの市民に、男女共同参画社会づくりについて関心を持ってもらい、講座等への積極的な参加が図れるよう取り組んでいきたい。 また、審議会等委員への女性登用を促進するため、新居浜市女性人材バンクを設置し、参画率向上に向けての取り組みを行った。令和12年度までに女性登用率50%を達成できるよう、引き続き各課所室への呼びかけを実施するとともに、女性人材バンクを活用して取り組みを進めていきたい。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03467_01	
事業名(行目名称)		DV対策推進費	細事業名	DV対策推進事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	男女共同参画社会の形成		
	基本計画	DV対策の推進	担当課	男女参画・市民相談課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	120,351人	
	手段(どうやって)	配偶者暴力相談支援センターで、市民の身近な相談窓口としてDV被害者の相談を受け、庁内各課を含めた関係機関と連携し、相談者の生きる力の回復、自立支援を行う。また、必要な時には、緊急避難支援及び緊急一時保護を実施することにより、生命を守る。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	DV相談を受けることにより、相談者の様々な相談内容に即した適切な対応を行い、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護を図り、被害者等の福祉の向上及び自立支援に資する。必要な時には、緊急避難支援及び緊急一時保護を実施することにより、生命を守る。				
III 投入費用						
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		3,974	4,891	4,891	4,046	報酬(コーディネーター・相談員)3,384千円 会計年度任用職員期末勤勉手当 288千円 共済費(会計年度任用職員) 349千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	報償費(通訳、弁護士・心理士相談・講師)307千円 通勤手当・旅費(相談研修・講師)342千円 消耗品費 39千円
	地方債		0	0		通信運搬費(携帯電話代・連絡郵送代) 98千円
	その他	0	0	0	0	負担金補助及び交付金(出席負担金)28千円 扶助費(緊急一時保護等) 56千円
	一般財源	3,974	4,891	4,891	4,046	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度
DV被害者相談件数		目標値	180	180	0	180
		実績	280	338	110	196
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			高い
<p>コロナ感染防止の影響で現地開催が難しい国県等主催の研修・女性関連施設相談員研修については、オンライン研修に相談員が参加できた。また、県DV防止対策連絡会は書面開催により県内の関係相談機関との情報や課題共有ができた。</p> <p>今年度は定例検討会で関係機関からの情報提供・交換の時間を設けており、相談機能の充実とワンストップサービスの意識統一に繋げていく。</p> <p>11月にはDV・児童虐待防止推進月間に併せたキャンペーンを開催し、ライトアップやロビー展、児相所長を講師に講演会を実施し、市民へ啓発と相談窓口の周知に努める。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>ワンストップサービスとして、相談者の負担減と事務処理の迅速化を図られることを目的に、引き続き相談・支援・自立までのサービス提供を実施する。そして、相談者に寄り添い、適切な対応を行い、被害者の保護と自立支援に資するため、DV相談員のキャリアアップおよび新たな相談員の育成を図る必要があり、現状維持をして事業を実施する。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>DV相談件数は、目標値は達成したものの、昨年度に比べ142件減少した。これは例年に比べ、裁判所への申立てに至る離婚調停・保護命令等法的手続きの相談が減少し、法的手続相談に集中して関わることが減少したことが要因と考えられる。</p> <p>今後も引き続き、配偶者暴力相談支援センターの更なる周知に努め、身近な相談窓口として引き続き相談・支援・自立までの支援を行うとともに、DV防止啓発講演会、相談員資質向上及び新規相談員養成のための講座、ロビー展等により、暴力防止に向けた啓発活動等、事業内容の充実を図っていきたい。</p>						

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03467_02		
事業名(行目名称)		DV対策推進費	細事業名	新居浜ほっとねっと補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	男女共同参画社会の形成			
	基本計画	DV対策の推進	担当課	男女参画・市民相談課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118251			
	手段(どうやって)	DV被害者等からの電話相談、面接相談に応じ、問題解決と自立までの援助事業、一時保護、同行支援など、きめ細かいサポートを行っていく。女性の自己決定権と子どもの権利を保障する啓発講座や広報活動を行っていく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	DV被害者が精神的回復を得て、自立していくまでの支援等を行っていく。不登校、虐待など問題のある過程の女性や子どもが回復するよう支援を行っていく。NPO法人新居浜ほっとねっとのメンバー一人ひとりが、今まで培ってきた知識や経験を生かし、それぞれのネットワークを利用して効率を上げることができる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	負担金補助及び交付金 285千円	
経費		250	285	285	285		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	250	285	285	285		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
相談件数		目標値	0	0	0	0	0
		実績	0	468	200	353	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
被害者からの電話及び面接で相談を受けて自立に向けたサポートや保護に努め、市や関係機関と連携をし、国や県主催の研修や連携会議にも積極的に参加するなど協力関係を図っている。予防啓発とセルフケアをテーマに研修や講演会も実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
市では配偶者暴力相談支援センターを開設しているが、より多くの窓口でDV問題等に対応できるという意味で本事業は有効な取り組みであり、情報共有等連携をとっていく必要があるため、現状維持をして事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
NPO法人新居浜ほっとねっとでは、面接・電話相談(計353件)、同行支援(31件)や、DV被害者の精神的回復のための講座(全6回)等を行い、DV被害者に対してよりきめ細かいサポートを行った。また講演会開催や、情報誌、HPを使った広報活動など、DV防止啓発のための事業を行った。今後も、引き続き市配偶者暴力相談支援センターとの情報共有、連携を図ることで、新居浜市全体として、よりきめ細かいDV防止対策を図っていく必要がある。							